

鎌倉市長

住所 鎌倉市梶原5-16-12
団体名 鎌倉・文化の森
代表者氏名 瀧下 嘉弘



協働事業報告書

【事業名】	観光案内図作成事業		
市担当課	市民防災部観光課		
団体名	鎌倉・文化の森		
事業実施期間	令和6年(2024年)6月2日 ~ 令和7年(2025年)3月31日		
事業費	298,734 円	負担金額	270,000 円
事業目的	観光客の需要を踏まえて正確で汎用性の高い大町・材木座エリアの観光案内図を作成する。 【達成できた点】 これまで発行することのなかった正確で地形のわかる大町・材木座の観光案内図を作成。 【達成できなかった点】 特になし		
事業概要	主要観光地域への「歩く観光」の推進を目的とした観光案内図「ぶらり鎌倉マップ」、毎年度観光課で新規エリアについて作成する。併せて発行しているマップ「鎌倉」に掲載する市域全体地図を更新、改良する。		
協働の成果・効果	ぶらり鎌倉マップや歩いてふれよう古都鎌倉マップ、駅の案内板などと表現が統一され観光客にとって分かり易くなった。市から提供される最新情報(コンビニや市の施設の情報)を盛り込むことが出来た。		
課題・問題点	ネットでのマップ利用が増え、紙媒体の地図を見慣れていない人たちにはなじみがない状況で紙のマップの良さをどう伝えていくかが課題。		
今後の展望	まだカバーしきれていないエリア(七里、腰越)のマップの作成、ネットのアプリとの連携が必要と考えている。		



【協働の評価】

協働で進めて いきたい理由	平成27年度からぶらり鎌倉マップの作成を行い、令和3年度には観光マップ「鎌倉」の作成を行ったが、その高い精度から好評を得ており、「歩く観光」の推進への寄与と観光客への正確な観光情報の発信が見込めるため。
協働の 成果・効果	【協働の成果目標】 更なる地図面の改良及び観光客への正確な観光情報への提供
	【達成できた点】 ぶらり鎌倉マップや観光マップ「鎌倉」、駅の案内板等と表現が統一され観光客にとって分かり易くなった。市から提供される最新情報（文学館の休館、ハイキングコースの通行止め情報、記念碑の移設等）を盛り込むことが出来た。 【達成できなかった点】 地図に関する情報は毎年累積し更新しているので特に達成できない点は特に無かった。
相互評価 ※上手くいったこと 問題点・課題など	【事業実施前】 ★3 ○市 協定締結までスムーズに実施することができた。 ○団体 情報の正確性と作業の早めの準備には努力した。
	【事業実施中】 ★4 ○市 新しいエリア（大町・材木座）のマップ作成を行った。 更新すべきマップ情報を把握し、適切に情報提供できた。 ○団体 機動力を活かした調査、諸々の経済動向からの費用負担が増えたことには悩まされ、努力したが今後負担軽減が課題。 市から修正依頼に対し、迅速かつ的確に対応した。
	【事業終了時】 ★5 ○市 記載情報の更新を行うことができた。 ぶらり鎌倉マップについては、既存の3種類に加え、新たに「大町・材木座」のマップが追加され、歩く観光の推進につながった。 ○団体 情報量が飛躍的に増えた分、地図を見慣れていない人たちにはわかり難くなった部分がある。
今後の展望	まだカバーしきれていないエリア（腰越）のマップの作成、ネットのアプリとの連携が必要と考えている。

【収支決算書】

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
I 収入の部		
(1) 市からの協働事業負担金	270,000	
(2) 参加者負担金	28,734	
収入合計	298,734	
2 支出の部		
(1) 事業費		
編集作業費	85,000	
交通費	39,200	
会場使用料	7,100	
通信費	10,150	
印刷費	67,000	
消耗品費	90,284	
支出合計	298,734	